

令和2年度入学試験問題 (推薦入試 I)

小論文

農学部 亜熱帯生物資源科学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

SDGs とは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称です。2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟 193 カ国が 2016 年から 2030 年の 15 年間で達成するために掲げた目標です。17 の大きな目標で構成されています。

17 の達成目標は、次の通りです。①貧困をなくそう、②飢餓をゼロに、③すべてのヒトに健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑥安全な水とトイレを世界中に、⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑧働き甲斐も経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑩人や国の不平等をなくそう、⑪住み続けられるまちづくりを、⑫つくる責任つかう責任、⑬気候変動に具体的な対策を、⑭海の豊かさを守ろう、⑮陸の豊かさも守ろう、⑯平和と公正をすべての人々へ、⑰パートナーシップで目標を達成しよう。

国内外で目標達成のための様々な取り組みがなされています。

問1 SDGs の目標達成のために国内外で様々な取り組みがなされているが、その具体的な取り組みについて、新聞等のマスメディアを通してあなたの知っていること、または直接経験したことを挙げて、その取り組みに対する自分の考えを400字以下で記述しなさい。

問2 SDGs の目標達成のために、自分自身が取り組みたい、または取り組むことが可能なことを、まず達成目標の番号を挙げて、さらにその具体的な内容について、800字から1000字程度で記述しなさい。ただし本学科に入学後、学習または研究したいと考えていることと結びつけて記述すること。

ちなみに、本学科のアドミッションポリシーでは、「生物資源の利用・開発及びバイオテクノロジーに関心のある人」、「健康の保持増進に有効な機能性食品の開発に興味を持つ人」、「発酵科学を通じて食品・医薬産業に貢献したい人」を求めています。

令和2年度入学試験問題 (推薦入試I)

小論文

農学部 亜熱帯生物資源科学科

出題の意図

本学科のアドミッションポリシーでは、「沖縄の亜熱帯島嶼性という環境で学ぶことを望み、農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志し、その学習のために必要な基礎学力を有し、主体的に学習に取り組む態度を身に付け、広い視野から社会の発展に貢献したいという意欲に溢れる人」を求めており、具体的には「生物資源の利用・開発及びバイオテクノロジーに関心のある人」、「健康の保持増進に有効な機能性食品の開発に興味を持つ人」、「発酵科学を通じて食品・医薬産業に貢献したい人」を挙げている。

SDGsは新聞など各種メディアのニュースでも頻繁に取り上げられている。特に環境問題に関する報道が多いが、それ以外にも達成目標がある。普段から問題意識をもってこれらの報道を見て、ニュースの内容を理解ができているかについて、一般素養を問う。また、本学科のアドミッションポリシーを理解し、自分が学習または研究したいと考えていることが明確であるかを測る。また将来的にどのように社会貢献に結び付けるかについての考えについても測る。創造力、発想力、論理展開能力についても測る。さらに、自分の考えを論理的に記述する文章作成能力があるかどうかについても測る。